

# 6GHz帯のSPモード利用のユースケース (検討資料)

令和4年10月26日

一般社団法人 無線LANビジネス推進連絡会

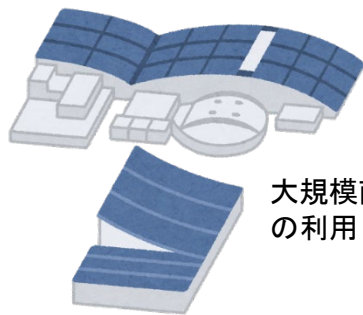
# 1. 公衆無線LAN提供のユースケース

提供者： エリアオーナー(自治体、店舗オーナー、施設オーナー)、公衆無線LAN提供事業者

利用者： 訪問者、施設利用者、公衆無線LANサービス契約者

利用エリア： 屋内・屋外で「通常の無線LANと同等程度のエリア」で使用

- ・屋外において、DFS不要なチャネル、帯域幅を活用したエリア設計が可能になる。
- ・屋内において、大規模商業施設や公共施設、スタジアムへの導入や更改時の設備改善で採用が期待される。



大規模商業施設等での利用



屋内外のシームレスなハンドオーバー

屋内、屋外にかかわらず公衆無線LANの需要は高い。特に屋内、屋外のシームレスな接続(ハンドオーバー)は利用者からの要望が多く、大きな改善点として上げられる。6GHz帯(6425-7125MHz) SPモードが、選択肢に加わることで、利用者への提供品質の向上、設備の効率な運営による提供エリアの拡大。

## 2. 敷地内で自営のユースケース

提供者：設備所有者、設備管理運営者等

利用者：提供者と同じ(自己使用)

利用エリア:ある程度の広がりのある自己所有/管理する敷地の屋外、建造物内

### 建造物の屋内

- ・情報通信網(IT)
- ・搬送ロボット式自動倉庫の制御ネットワーク(OT)
- ・自動搬送車式生産ライン(IT)
- ・大規模施設の監視カメラネットワーク(IT)
- ・製鉄所内でのクレーン操作(OT)

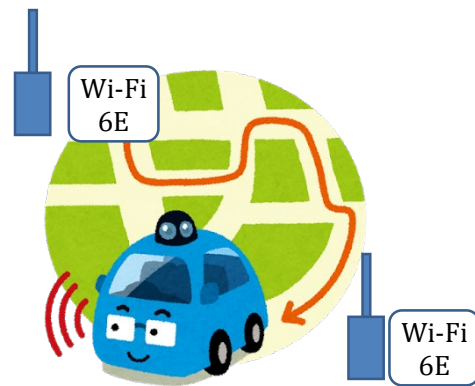
### 屋外(敷地内)

- ・アミューズメントパークでの移動体車両の無線通信(OT)
- ・棟間接続(敷地内)
- ・私有地内での自動運転車からの通信(OT/IT)
- ・空港施設内バス無線(IT)

映像によるモニタリング・遠隔監視、遠隔制御を無線によって実現することで、オペレーションの効率化と柔軟性を兼ね備えた設備の管理運営の実現

OT(Operational Technology):制御、遠隔操作等に無線を活用するユースケース

IT(Information Technology):情報通信のために無線を利用するユースケース



私有地内での自動運転車からの通信